

製造業に求められる脱炭素の取り組み プラスチック成形技術講演会開催 CO₂排出量の低減に対応することが重要

令和4年度プラスチック成形技術講演会が、名古屋市工業研究所と愛知県プラスチック成形工業組合との共催事業として7月28日午後2時30分よりオンラインで開催された。今年度は「製造業に求められる脱炭素の取り組み」を演題に、一般財団法人日本エネルギー経済研究所・環境ユニット気候変動グループ研究主幹の小川順子氏を講師に招聘して行われた。

開会の挨拶で名古屋市工業研究所の秋田重人所長は、「政府の『カーボンニュートラル宣言』以降、当地域のプラスチック製造業をはじめとした中小製造業にとっても『脱炭素に向けた取り組み』が避けて通ることのできない課題となりつつある。本日の講演会が、脱炭素への取り組みや新たな事業展開のきっかけになることを祈念している」と述べた。

講演では、世界的な潮流になっている脱炭素の背景、CO₂排出の構造やカーボンプライシングの概要について説明された後、カーボンニュートラルの目標に向けた政府のクリーンエネルギー戦略、グリーン成長戦略等の検討状況を概観、各国のグリーン成長戦略に係る技術競争力を知的財産の観点から比較して解説された。

小川講師は講演の中で「プラスチックは必需品。再利用の促進、原材料開発、製造工程の省エネ化等、持続的に使い続け

られるような取り組みが今後ますます重要になってくる」と述べた。また、当地域企業の脱炭素の取り組み事例の紹介のほか、中小企業向けに名古屋市が実施している「なごや省エネ相談」をはじめ、国や自治体による様々な支援制度についても紹介が行われた。



小川順子講師

質疑応答では、「当地域は自動車部品メーカーが多い。メーカーに対するCO₂排出量削減はどこまで求められるのか？」との質問に対して小川講師は、「自動車は作って終わりではなく、利用され始めてからもCO₂を排出し続ける。部品メーカーへの要求は徐々に厳しくなると予測している。先を見据えて準備し、取り組むことが重要」と述べた。

また、「脱炭素に向けて、CO₂排出量が少ない低炭素電源に置き換えが進むとして、十分な電源供給は可能か？」という質問には、「脱炭素に向けて低炭素電源が市場に求められるようになると、需給バランスで電源価格が上がっていくと想定され、その価格上昇は市場参入を促し、低炭素電源が増えていくきっかけになる。政府でも再エネの主要電源化を目指している」との回答があった。

講演会後は、多くの聴講者から参考になったとの声が聞かれた。



新会長に大野泰昭氏就任

連合会第61回通常総会



大野泰昭新会長

全日本プラスチック製品工業連合会第61回通常総会が6月30日午後4時から名古屋市の名鉄グランドホテルで開催され、25名が出席。当協会から10名が出席した。



右が横山前副会長

加藤会長の挨拶の後議事に入り、令和3年度事業報告及び決算、収支差額処分方法、令和4年度事業計画及び予算案が原案通り可決承認された。

今年は役員改選期にあたり、コロナ感染症のため1期2年延長というかたちで加藤会長が務めてきたが退任し、新たに大野泰昭氏（東日本前会長）が選任され就任した。また、副会長は大松利幸氏（中部日本）が重任し、新副会長に住田嘉久氏（東日本会長）と岩崎能久氏（西日本会長）の両名が就任した。

役員改選の後、大野新会長の就任挨拶に続き、新旧会長による引継式が行われ、大野新会長から退任する加藤会長、下前副会長と2年前コロナで総会ができなかったため、この機会に横山元副会長にも感謝状等が贈られた。

加藤前会長から「この4年間、皆様のご支



援ご協力に感謝申し上げます」と退任の挨拶があった。

総会終了後の懇親会は、久しぶりに顔を合わせたの会話もはずみ、楽しい時間となった。

故 伊勢村道雄氏を偲ぶ

「お別れの会」に多数参列

去る5月29日に逝去された千代田合成(株)会長、伊勢村道雄氏の「お別れの会」が8月8日名古屋マリオットアソシアホテルで執り行われた。

協会・伊勢村昌吾副会長のご尊父道雄氏は、昭和6年北海道に生まれ、昭和15年家族で名古屋へ移住。昭和26年医師を志し岐阜県立医工科大学（現岐阜大学）に入学するが、2年後家業のため工学部へ移る。昭和29年在学中トヨタ自動車の初代クラウンに樹脂製のスイッチノブが採用されるにあたり、他社でできなかった製品を父富雄氏とともに不眠不休で開発に専念、試行錯誤の末遂に大量生産を成し遂げる。

昭和30年大学を卒業し千代田合成樹脂工業に入社。

昭和49年千代田合成(株)に社名変更、昭和56年代表取締役役に就任した。平成元年愛知県知多郡武豊町の富貴工業団地に新工場を建設、操業を始める。その後令和3年まで5期の増築を重ね生産能力を拡大した。平成24年タイ国ラヨン県にCHIYOTA GOSEI(THAILAND)を設立し、海外進出を果たす。

創業時から家業社業の第一線に立ち、今日の千代田合成を築いた功績は誠に大きく、その精神、技術は脈々と後世に引き継がれている。



令和4年度前期技能検定 57名が学科講習会受講

令和4年度前期技能検定学科予備講習会が7月24日名古屋市工業研究所で開催され、57名が受講した。

午前9時30分本試験に向けての対策と注意事項の説明から始まり、その後模擬試験を実施、真偽法50問と四者択一50問に挑戦した。昼食休憩を挟んで午後12時15分より中部日本プラスチック職業訓練校今西秀明講師による解答と解説が3時間半にわたって行われた。

模擬試験の結果は、平均点は1級70.0点、2級56.7点、最高点は1級83点、2級78点であった。本試験の合格は65点以上である。試験まで1ヶ月余りあるのでしっかり勉強して合格を目指して欲しい。

本試験は、8月21日(日)の午後に名古屋芸術大学東キャンパス(愛知県北名古屋市)で実施された。



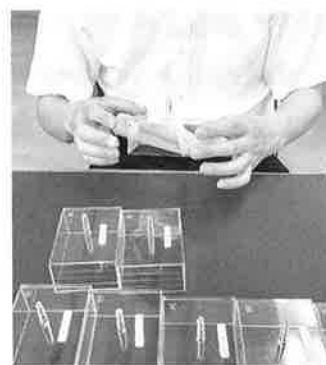
前期技能検定学科予備講習会

製品検査・採点会議を実施 対象は2級実技受検者505名

令和4年度前期技能検定2級実技試験の締め括りとなる製品検査・採点会議を8月10日名古屋市工業研究所展示場で実施した。検定委員・補佐員など総勢101名が参加して2級実技受検者505名の製品採点を行った。コロナ感染症対

策で昨年同様午前と午後の2班に分かれ、1製品2ライン計4検査ラインを設け、検査項目別に担当を決め流れ作業の方法で実施した。

全実技受検者中欠席者は36名(7.2%)となり、コロナ感染症の影響により昨年より欠席が増えた。なお、今年の傾向として減点数の多い不良が3項目位に集中していた。



製品検査・採点を行う
検定委員、補佐員

令和4年度 後期技能検定 実施日

項目	期・職種	後期(予定)	
		プラスチック成形 特級	
		射出成形 3級	
		ブロー成形 1・2級	
実施公示		令和4年9月1日(木)	
受検申請の受付		令和4年10月3日(月) } 令和4年10月14日(金)	
実技試験問題公表		令和4年11月28日(月)	
実技試験		令和4年12月5日(月) } 令和5年2月12日(日)	
	特級	令和5年1月29日(日)	
学科試験		令和5年2月5日(日)	
	特級	令和5年1月29日(日)	
合格発表		令和5年3月10日(金)	
合格証書交付		令和5年5月中旬	

職業訓練校レポート

中部日本プラスチック職業訓練校では、7月の授業で次の見学を実施した。

機械工学概論：ロボットテクノロジージャパン2022 提出されたレポートを紹介する。

ロボットテクノロジージャパン見学

■笠寺プラスチック工業(株)：K.O

常滑にあるAichi Sky Expoで産業用ロボット・自動化システムの専門展であるロボットテクノロジージャパン2022を見学してきました。

各企業が多様な分野で使えるロボットが展示しており、その中でもファナックや日本機材などがPRしたパレタイジング（箱詰めされた商品を決められた位置でパレット上に積み上げる作業）協働ロボットや、三機が提案したネコ型配膳ロボットが印象に残りました。

私は出荷の仕事に携わっており、重い商品をパレットに手で積むことや金具を台車に乗せて運ぶこともあるので、こういうロボットがあれば体力の消耗や時間の消費を抑えられて、ヒューマンエラーも無くなるので便利だなと思いました。

また、テクロックではゴムやプラスチックの硬さを自動化によって測定値のバラツキを解消出来る試験機や、YAMAHAによる製品の高速箱詰めや検査も自動で行うロボットも展示しており、品質面でもロボットによる自動化が進んでいることを知ることが出来ました。

ただ導入費用や保管場所、雨や故障などの課題はあるので、それらを解決するには難しい面もありますが、長期的に見れば大きな戦力にな

ると感じました。

またプラスチックの射出成形には、自動化で出来ることの限界もあって人の力は欠かせないと思いますが、協力してものづくりが出来れば生産性が向上して品質が安定すると思いました。

様々な企業のロボットを見て新しい技術や自動化について勉強になったので今後のものづくりなどで活かしていきたいです。

■(株)鈴木化学工業所：K.M

7月2日、愛知国際展示場にて開催されたロボットテクノロジージャパン2022に行きました。多くの企業が出展しており、来場者も多かったため、このイベントの人気の高さが見えました。

私は広いブースを構えている企業をメインに見て回ったのですが、一番印象に残っている企業はFANUCで、資料の入った袋を人が渡すのではなく、ロボットを使って渡されたので、テンションが上がりました。そして、多くの展示がある中でもバラ積み取り出しロボットが印象的でした。

このロボットのどこに惹かれたかと言いますと、他の機械で箱詰めされたものを、人間の手



ISONO

いそのプラスチック材料

有限なる資源を限りない人生の幸福のために

いその株式会社

名古屋市東区相生町55 〒461-8630
TEL(052)931-1211(代)
FAX(052)930-1975



プラスチック原料販売及着色加工 永興物産株式会社

本社 〒491-0828

愛知県一宮市伝法寺一丁目9番地8

TEL 0586-77-4033

FAX 0586-77-8014

<http://www.eikoubussan.jp>



によって整列させることなく、アームロボットが的確に運び出してくれるという所です。また、箱だけに限らず、小さなものでも個々を判別し、取り出してくれます。

これを可能にしている技術がビジョンセンサというもので、カメラで撮影した画像をコンピュータで処理することで、様々な検査や位置補正などを行うことができます。例えるなら、人間の目のような動きを技術によって再現したものとなります。

このロボットは、工場で作られた製品を箱に詰める作業や、そうして出来上がった箱を並べるといった作業が人の手から離れ、機械化することによって、工場の省人化に繋がると思いました。

また、この技術は、小さなものから大きなものまで幅広く扱われるプラスチック成形品とも相性が良く、今まで成形されたものを巡回者が箱詰めして運んでいたものが、全て機械に任せられることができる、そんな可能性を秘めているように感じました。

.....
■(株)タイセイプラス：N.T

ロボットテクノロジージャパン2022を見学しました。

会場内には自動で稼働するロボットがたくさん有り、その中でも特に自分が気になったのは、検査測定機と物を掴むロボットアームです。検査測定機は自動で対象物の寸法を測定する機能に加え、数字では表すことのできないようなイレギュラーなキズ状のものも異常だと認識できるようで、射出成形した製品を検査するときに活躍しそうだと思いました。



ロボットアームは自動で物を掴んで可動範囲内の別の場所に移動させるロボットで、乱雑に積まれたような物でも同じ位置をしっかりと掴むことが出来、2つのロボットアームを使用する際は互いが干渉し合わないよう稼働できるので、このロボットも成形作業で活躍できると思いました。自社で良い製品を自動成形している際に、たまに製品を掴みきれず、途中で機械が止まってしまう事があるのですが、それを防げるのではないかと思います。

他にも、物を乗せると自走して遠くの置き場まで運んでくれる自走ロボットや、人が乗って操作するような大きさのフォークリフトも自動で動いていたり、そしてそれらのロボットは互いがぶつからないよう動いていたり、この先工場が無人でも稼働するようになるのも近いのでは、と思いました。

今回展示会を見学させていただき、機械や設備は進化していることが実感できました。もし、最新のロボットが自社に導入されても、今の自分では上手に扱いきれず、宝の持ち腐れになってしまいそうなので、今の内から勉強して、今回学んだことも活かせるように備えておきたいです。

未来素材をオーダーメイド
エンプラのトータルサプライヤーKASAGI

 **笠置産業株式会社**

本社：名古屋市東区泉一丁目17番24号 〒461-0001
TEL.(052)962-9500 FAX.(052)972-7986
営業所：浜松・豊川・諏訪 工場：豊川

粉粒体用機器&システム

KAWATA

問題解決に向かって共に歩む

株式会社 **カワタ** www.kawata.cc
名古屋営業所 〒461-0021 名古屋市東区大曾根1丁目2番22号
TEL.052-918-7510 FAX.052-911-3450



蝉時雨がいつの間にか鈴虫の音色に変わり、心穏やかに茶の湯でも楽しもうかと思える日和になってきたこの頃。なに、余とてその道には一家言ある身。余の示した『條々二十一箇条』にもある「心を込めた贈答・饗応を大切にせよ」これすなわち茶の湯の心じゃ。

そもそも尾張藩では有楽流の作法が伝えられておったが、これはもちろん信長公の弟君、織田長益（有楽斎）殿に始まるもの。聞けば有楽斎殿は利休七哲の一人に加えられる事もあると言うが、七哲とは秀吉公から相伝を受けたいわば孫弟子ともいえる者共の事であり、有楽斎殿は秀吉公の面前において利休殿本人から相伝を受けるといふ、まさしく別格の存在であらせられるお方。その茶風はなにより「客を饗なす」ことを重んじ、次いで「古人に倣って研鑽する中から創意工夫を生むことを良しとする」もの。どうじゃ、余の『條々二十一箇条』と相通ずるものがある。



茶の湯といえは茶道具じゃ。

古くは信長公の手に渡るのを良しとせず、自ら破碎したという松永久秀の【古天明平蜘蛛】の茶釜など、名物と呼ばれる茶道具は一国一城

にもあたるとされる我ら大名の秘蔵品であり、名物を持っているか否かが家の格を表すとまで言われた“すて一たすしんぼる”なのじゃ。

ちなみに、わが尾張藩に伝わる大名物の一つがこの【唐草染付茶碗 銘 荒木】。荒木村重の所有から茶道の師である千利休殿の手に渡り、後に神君家康公から尾張徳川家へと伝来したもののじゃ。



と、いう事は当然、それほどの価値を生み出す名物の作り手は我らによって強力に保護される事になる。例えば……ほれ、あの辺りは今だにこう呼ばれておるではないか『鍋屋町』と。

そもそも尾張では今の守山区の辺りに産鉄の痕跡を示す地名が多くあり、例えば「香流川」は“金連（かなれ）”“金流（かなれ）”と尾張史に記載されておる。

鉄製品は全てにおいての基幹産業である。我らの要である武具や農具、生活用品、寺社御用の梵鐘、そして、茶の湯に供する茶釜。

尾張では常滑の片山家を除いた全ての鋳物師は、原料搬入・製作・販売から鋳物師の移動まで生活の全てが、信長公の朱印状を拝領した水野太郎左衛門家の統括下に入っておったが、水

プラスチックの無限の可能性を追い求める
プラスチックの総合メーカー

ISU 岐阜プラスチック工業株式会社

リスのプラスチックグループ 取り扱い製品

物流産業資材、食品包装容器、家庭用品、ハニカムパネル、土木建築資材、塩ビ管接手、スポーツ資材、工業・医療機器関連品

株式会社 三幸商会

取締役社長 若尾 剛

名古屋市千種区内山三丁目3番2号 〒464-0075

TEL (052) 733-5111(代) FAX (052) 733-5141

Sanko Shokai Co., Ltd

3-3-2, Uchiyama, Chikusa-ku, Nagoya, Japan

TEL : (052) 733-5111 FAX : (052) 733-5141

野家三代目の頃、かの“清州越し”に伴って鋳物師たちが大挙移って来たのが今は東区泉とか申す辺り、この『鍋屋町』という訳じゃ。



水野太郎左衛門の宅跡にはその名も【鍋屋】と号する店が受け継がれており、十五代目が玄人向けや“はいくおりてい”な庶民向けの調理用品全般を広く扱っている。

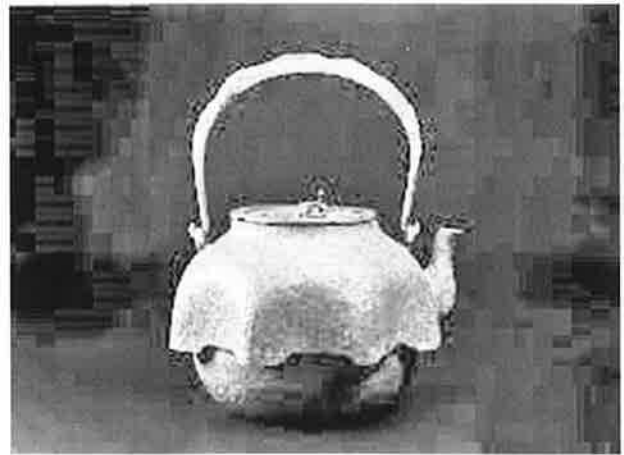
そうそう、茶道具じゃった。

尾張藩主より名字帯刀を許されるほどその技を見込まれ“御釜師”として茶道具を手掛けていた加藤家もこの辺りに健在じゃ。

その屋号は【紫金堂】。



現在では十三代目を数えるまでになった加藤忠三郎殿が工芸作家として活動されているが、先代の作品などは“ねっと”などで良く見かける事ができる。




冷たい鉄で出来ているはずなのに、生きていくかのごとき温もりを感じさせる、えもいわれぬ曲線はまさしく“御釜師”の名に恥じぬ技の冴え。

これらの名物で将軍・吉宗を饗応する機会があったならば、彼奴も少しは儉約狂いから目を覚ましたかもしれぬのう。

さて、では一服……うむ、この豊かな味わいはさすがに宇治の……何、西尾!? 三河の西尾と言えば吉良殿の頃より塩が名産と相場が決まっておったが、そのような所がこれほど見事な茶の名産地に様変わりしていようとは、当世名古屋は誠に面妖よのう……

技術とハートがスパークする
ドラマチック創造企業

プラスチック、セラミックス、MIM金型

 株式会社 三洋製作所

本社工場 名古屋市長区鳴海町下汐田 183 番地
TEL 052-621-5238 FAX 052-621-3501

取出用ロボット・FAシステムの総合開発

STAR
Quality First

株式会社スター精機
名古屋支店

〒480-0132 愛知県丹羽郡大口町秋田3-133
TEL 0587(95)7557 FAX 0587(96)1291

浜松営業所 TEL 053(432)6131 富山営業所 TEL 076(492)3260
静岡出張所 TEL 054(289)2241

本社・工場/〒480-0132 愛知県丹羽郡大口町秋田3-133 TEL0587(95)7551(代)
出雲工場/〒699-0831 島根県出雲市斐川町直江3538 TEL0853(72)4311

<http://www.starseiki.com>

《2022年4～6月期会員景況感調査報告(全国版)》

総回答数 232 社

1. 地域別内訳(事業の中心をおいている地域)

東日本	65 社	中部日本	60 社	西日本	107 社
-----	------	------	------	-----	-------

2. 売上(または取扱)商品の中で最もウエイトの高いものの内訳

日用品・雑貨類	25 社	包装用容器・キャップ	21 社	電気・電子・通信部品	44 社		
自動車・輸送機器部品	75 社	住宅関連	15 社	医療機器	6 社	その他	31 社

3. 従業員数の内訳

20人未満	50 社	21～50人	54 社	51～100人	54 社	101～300人	43 社	301人以上	14 社
-------	------	--------	------	---------	------	----------	------	--------	------

4. 今期(2022年4～6月期)の自社業況について(%)〈網掛けの数字は前期の結果です〉

	2022年4～6月期(実績)											
	前期(2022年1～3月期)比						前年同期(2020年4～6月)比					
	1.増加(↑)		2.横這(↓)		3.減少(↑)		1.増加(↓)		2.横這(→)		3.減少(↑)	
①生産・売上高	25.9	21.2	34.5	44.4	39.2	33.2	29.7	34.7	30.2	29.3	39.2	34.4
②製品単価	33.2	20.5	62.9	75.7	3.9	3.1	39.2	26.6	54.7	64.5	5.2	6.9
③採算	7.8	9.3	44.8	53.7	47.4	35.5	12.5	16.6	35.8	37.5	50.9	44.4
④所定外労働時間	10.3	16.2	59.1	57.9	30.2	24.3	12.9	18.9	53.9	50.6	31.9	27.8
⑤製品在庫	21.6	24.3	53.9	61.0	24.1	13.1	27.6	27.8	50.4	52.9	20.7	17.0
⑥樹脂原料単価	88.4	76.4	11.2	20.5	0.0	0.0	88.8	82.2	9.1	12.4	0.9	0.8
⑦総合判断	7.3	10.4	44.4	50.6	47.8	37.8	13.8	18.1	32.8	37.5	52.6	42.5
⑧来期の見通し	15.5	13.1	47.0	51.0	32.3	29.3						

5. 当面の経営上の問題点(%)〈網掛けの数字は前期の結果です〉

1. 売上不振	2. 輸出不振	3. 製品単価安	4. 取引条件悪化	5. 過当競争	6. 輸入品との競合						
43.5	39.4	2.2	3.1	22.8	26.3	4.3	2.7	5.2	4.2	0.9	1.5
7. 流通経費増大	8. 原材料高	9. 借入負担増	10. 銀行貸し渋り	11. 人件費高	12. 採用難						
23.3	17.0	84.1	77.6	5.6	6.9	1.7	0.4	29.7	23.9	33.6	33.6
13. 技能者不足	14. 技術力不足	15. マーケティング力不足	16. 設備過剰	17. 法的規制	18. 為替問題						
22.4	28.6	10.8	8.5	6.5	5.0	0.9	1.5	2.2	1.5	11.2	5.0
19. 環境問題	20. 人材育成	21. 研究開発	22. 事業承継	23. その他							
5.6	6.9	31.9	34.4	1.3	4.2	6.0	4.2	4.3	4.6		



住友重機械工業株式会社 プラスチック機械事業部
国内営業部 中部営業所
〒465-0045 愛知県名古屋市中区東区姫町14-1
営業：TEL.052-702-3801 FAX.052-702-3806
サービス：TEL.052-702-3803・3802 FAX.052-702-3806
URL <http://www.shi.co.jp/plastics>



第一実業株式会社
DAIICHI JITSUGYO CO., LTD.
本社 〒101-8222 東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地
(御茶ノ水ソラシティ) TEL03-6370-8600 (代)
大阪支社 〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島3丁目6番32号
(ダイビル本館) TEL06-4967-3000
名古屋支社 〒460-003 愛知県名古屋市中区錦2丁目3番4号
(名古屋フロントタワー) TEL052-201-5471
URL: <http://www.djk.co.jp>

5-2. 当面の経営上の問題点におけるその他の意見

- 設備の老朽化 ※同一回答 1件あり
- エネルギー高騰
- 安定
- 感染症対策
- 電力費上昇
- 半導体不足およびコロナ
- 樹脂材料調達難
- 顧客の稼働状況に左右されてしまう点
- 輸入品価格増（円安）
- 電力費他経費増
- ポリ袋、ダンボール等梱包資材高

○その他の意見がありましたら具体的にお書き下さい

- 後継者がいないため廃業準備中
- 昨年から材料費の高騰が続いています。今年に入って少しずつ製品単価の見直しができつつあります。しかし、材料単価の上昇には追いつかず、製品単価の改定に対し駆け込み注文での売上は伸びたものの、その後の注文にはつながっていないので、これからの売上減が心配です。
- 自動車関連の生産調整のため一時的に受注減。短期受けの移管型受注を活発にしたい。
- 海外からの部品調達難に伴う顧客の生産変動が懸念される。資源、エネルギー価格の上昇に伴い原価の高騰が懸念される。
- ① 円安・半導体不足を解消すべき。 ② 大手企業は利益を還元すべき。
- まだ厳しい状況は続くと思われる。
- 原料価格と電気代高騰が痛い状況です。
- 材料費の上昇を製品単価に反映するまでタイムラグがあり、今は厳しい状況にある。
- 原材料価格がどんどん高くなっているが材料費はなかなか認められないのが現状であり、採算性の悪い製品が多くなってきている。プラスチック業界は今後どのような対応を図っていくのか方向性がわからない。
- 原油の高騰による燃料や原材料の値上げ、電気代、食品とすべてが負の連鎖。自動車の車両価格を上げるのであれば、我々が納入する自動車部品も当然相当の値上げは成り立つ事と考えます。
- 円安、海外市場の変化に追随出来ていない日本国。岸田内閣も参議院選挙が終えるまで「ケセラセラ（なるよになれ?）」でしょうか？
- 原材料高を単価反映しない
- 車部品に70%以上依存しているので、現下に於いては深刻なダメージがあり、異業種も模索中、即効性難しい。

一生涯のパートナー
第一生命
Dai-ichi Life Group
第一生命保険株式会社
ホームページ
<https://www.dai-ichi-life.co.jp/>

Togo | SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。
東郷産業株式会社
取扱商品 | 自動車、電機、産業機械、船舶、航空宇宙関連等の資材、特殊合金鋼、工場設備機械類の販売
〒460-0012 名古屋市中区千代田五丁目4番16号 品質保証 ISO9001:2015 取得 環境保全 ISO14001:2015 取得
TEL 052-251-5371 FAX 052-251-5381 <http://www.to-go.co.jp/>

各分類ごとの業況判断（2022年4～6月期）〈前期比・前年同期比〉

1. 数字は単純平均％で表示しております

	全 体			中 部 日 本			東 日 本			西 日 本			製 品 別										
	前 期 比	前 年 比	前 年 比	前 期 比	前 年 比	前 年 比	前 期 比	前 年 比	前 年 比	前 期 比	前 年 比	前 年 比	自 動 車	日 用 品 類	キ ャ ッ プ 容 器 包 装	電 気 ・ 電 子 通 信 部 品	住 宅 関 連	医 療 機 器	そ の 他				
生産高 売上高	増加	25.9	29.7	15.0	20.0	35.4	33.8	26.2	32.7	12.0	14.7	24.0	40.0	66.7	47.6	27.3	33.3	60.0	16.7	0.0	32.3	35.5	
	横這	34.5	30.2	25.0	18.3	40.0	32.3	36.4	35.5	24.0	16.0	32.0	28.0	23.8	33.3	50.0	40.0	20.0	50.0	66.7	35.5	38.7	
	減少	39.2	39.2	58.3	61.7	24.6	30.8	37.4	31.8	62.7	68.0	44.0	32.0	9.5	19.0	22.7	26.7	20.0	33.3	33.3	32.3	25.8	
製品単価	上昇	33.2	39.2	25.0	25.0	33.8	40.0	37.4	46.7	22.7	25.3	44.0	52.0	42.9	57.1	34.1	38.6	53.3	16.7	16.7	29.0	45.2	
	不変	62.9	54.7	68.3	65.0	64.6	53.8	58.9	49.5	73.3	65.3	56.0	48.0	47.6	33.3	61.4	52.3	46.7	83.3	83.3	67.7	54.8	
	下降	3.9	5.2	6.7	10.0	1.5	3.1	3.7	3.7	4.0	8.0	0.0	0.0	9.5	9.5	4.5	6.8	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0	
採 算	好転	7.8	12.5	5.0	3.3	10.8	13.8	7.5	16.8	2.7	5.3	12.0	12.0	4.8	9.5	6.8	15.9	13.3	20.0	0.0	16.1	19.4	
	横這	44.8	35.8	38.3	31.7	58.5	44.6	40.2	32.7	38.7	29.3	32.0	44.0	38.1	23.8	65.9	50.0	46.7	50.0	50.0	51.6	45.2	
	悪化	47.4	50.9	56.7	65.0	30.8	38.5	52.3	50.5	58.7	64.0	56.0	44.0	57.1	66.7	27.3	31.8	40.0	46.7	50.0	32.3	35.5	
所定外 労働時間	増加	10.3	12.9	3.3	6.7	15.4	16.9	11.2	14.0	10.7	8.0	12.0	12.0	4.8	0.0	11.4	22.7	33.3	20.0	0.0	16.7	12.9	
	横這	59.1	53.9	41.7	33.3	69.2	63.1	62.6	59.8	34.7	30.7	64.0	68.0	76.2	81.0	72.7	59.1	53.3	66.7	100.0	83.3	74.2	61.3
	減少	30.2	31.9	55.0	60.0	13.8	15.4	26.2	26.2	54.7	60.0	20.0	16.0	19.0	19.0	15.9	15.9	13.3	13.3	0.0	22.6	25.8	
製品在庫	増加	21.6	27.6	23.3	20.0	26.2	36.9	17.8	26.2	26.7	28.0	8.0	8.0	19.0	28.6	20.5	31.8	40.0	40.0	33.3	66.7	12.9	25.8
	横這	53.9	50.4	55.0	60.0	49.2	40.0	56.1	51.4	45.3	45.3	48.0	48.0	66.7	66.7	68.2	61.4	46.7	40.0	50.0	16.7	61.3	54.8
	減少	24.1	20.7	20.0	18.3	24.6	20.0	26.2	22.4	26.7	24.0	44.0	44.0	14.3	4.8	11.4	4.5	13.3	20.0	16.7	25.8	19.4	
材 料 調達単価	上昇	88.4	88.8	85.0	80.0	83.1	90.8	93.5	92.5	81.3	80.0	100.0	100.0	100.0	95.2	84.1	90.9	93.3	100.0	100.0	83.3	93.5	90.3
	横這	11.2	9.1	13.3	16.7	16.9	6.2	6.5	6.5	17.3	16.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.9	6.8	6.7	0.0	0.0	16.7	6.5	9.7
	下落	0.0	0.9	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
総合判断	好転	7.3	13.8	6.7	1.7	9.2	20.0	6.5	16.8	2.7	5.3	12.0	24.0	9.5	4.8	6.8	20.5	6.7	13.3	0.0	0.0	12.9	19.4
	横這	44.4	32.8	31.7	26.7	61.5	41.5	41.1	30.8	29.3	22.7	36.0	28.0	28.6	33.3	70.5	47.7	60.0	40.0	66.7	50.0	58.1	45.2
	悪化	47.8	52.6	61.7	71.7	29.2	35.4	51.4	52.3	68.0	70.7	52.0	48.0	61.9	61.9	22.7	29.5	33.3	46.7	33.3	50.0	25.8	35.5
来期の 見通し	好転	15.5		16.7		12.3		16.8		25.3		12.0		4.8		13.6		6.7		0.0	16.1		
	横這	47.0		41.7		61.5		41.1		46.7		28.0		42.9		61.4		53.3		83.3	48.4		
	悪化	32.3		36.7		16.9		39.3		24.0		56.0		47.6		18.2		33.3		16.7	32.3		

各分類ごとの経営上の問題点 (2022年4～6月期)

1. 数字はすべて前期比で、単純平均%で表示しております
 2. 傾向がわかるように、値が50%以上の場合は網掛けを行っております

	全 体	製 品 別						
		自動車	日用品・ 雑貨類	容器包装・ キャップ	電気・電子・ 通信部品	住宅関連	医療機器	その他
売上不振	43.5	66.7	64.0	23.8	27.3	26.7	50.0	19.4
輸出不振	2.2	0.0	8.0	0.0	2.3	0.0	0.0	3.2
製品単価安	22.8	21.3	12.0	47.6	25.0	20.0	16.7	16.1
取引条件悪化	4.3	5.3	0.0	14.3	4.5	0.0	0.0	3.2
過当競争	5.2	5.3	16.0	4.8	4.5	0.0	0.0	6.5
輸入品との競合	0.9	1.3	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
流通経費増大	23.3	20.0	36.0	14.3	25.0	40.0	16.7	22.6
原材料高	84.1	72.0	96.0	90.5	88.6	86.7	100.0	90.3
借入負担増	5.6	6.7	4.0	0.0	6.8	0.0	0.0	9.7
銀行の貸し渋り	1.7	0.0	0.0	4.8	4.5	0.0	16.7	0.0
人件費高	29.7	32.0	24.0	28.6	27.3	33.3	16.7	25.8
採用難	33.6	34.7	44.0	42.9	27.3	33.3	50.0	29.0
技能者不足	22.4	24.0	20.0	9.5	31.8	33.3	0.0	12.9
技術力不足	10.8	4.0	28.0	9.5	20.5	6.7	16.7	6.5
マーケティング力不足	6.5	2.7	8.0	19.0	4.5	0.0	0.0	12.9
設備過剰	0.9	0.0	4.0	4.8	2.3	0.0	0.0	0.0
法的規制	2.2	1.3	8.0	4.8	0.0	0.0	16.7	3.2
為替問題	11.2	8.0	24.0	19.0	11.4	6.7	16.7	6.5
環境問題	5.6	6.7	8.0	23.8	0.0	0.0	0.0	3.2
人材育成	31.9	28.0	28.0	23.8	43.2	46.7	33.3	29.0
研究開発	1.3	0.0	4.0	0.0	4.5	6.7	0.0	0.0
事業承継	6.0	8.0	4.0	0.0	9.1	6.7	0.0	3.2

TOYO
Customer's Value Up
 ～お客様の商品価値向上をめざす～
東洋機械金属株式会社 電動サーボ射出成形機
<http://www.toyo-mm.co.jp>
 中部支店: 〒465-0051 愛知県名古屋市中東区社が丘1-1202
 TEL.052-704-4500 FAX.052-704-3980

**プラスチック表面処理の
 一貫生産が可能!**
 金型製作から成形、めっき、ASSYまでお任せください!
 成形・めっき・蒸着・塗装・組立等
 プラスチック表面処理の一貫生産メーカー
 **東洋理工株式会社**
 〒444-1193 愛知県安城市藤井町南山178番地
 TEL: 0566-99-0851(代表) FAX: 0566-99-1355
 URL: <http://www.toyoriko.co.jp/>

青年経営者研究会事業

屈指の金型技術と製造能力保有 「TMW」の工場見学を実施

青年経営者研究会（ニットウ・平松三千将会長）は、8月25日に愛知県稲沢市のTMW（立松宏樹社長）の工場見学を実施した。参加者10名。

同社は、自動車内外装プラスチック成形用金型の設計製作を行う、業界屈指の技術と製造能力を保有している業界のフロントランナー企業である。

事業内容は、金型専門メーカーとしてスタートしながら、現在ではホットランナー事業、プロジェクトマネジメント事業、ツールドクター（金型保守メンテナンス）事業、海外メーカー（機械加工用クランプ治具）総代理店、ソフトウェア開発事業など、事業の多角化を進めている。

また、グローバル展開もしており、世界各地の顧客に同社の高品質な金型およびサービスを提供できる体制を確立している。

創業以来、顧客の困り事を解決するために、いかなる難題にも挑戦して来た経緯を立松恭一執行役員から聞き、同社には、チャレンジ精神が企業文化として深く根付いていることを強く感じた。

工場の見学では、同社の金型製造における一連の工程を見学。高い意匠性が求められる自動車内外装部品においては、大型金型と言えども、求められる加工精度はミクロンオーダーである



説明を受けながら工場内を見学



事業内容など会社の概要を聞く

ことに衝撃を受けた。同社は永い歴史の中で培われた熟練の技能と最先端の設備、そして加工技術を組み合わせ、大型金型の製造において高い品質と生産性を実現している。

また、最後に案内されたショールームでは、同社の金型によって生産された成形品の展示を前に、苦勞する中で技術の粋を尽くして実現した取り組みについて聞いた。見学の後は質疑応答の時間が設けられ、大型金型の技術を後世に残し、社会に貢献し続けることを志す同社が、具体的に取り組む環境や社会への貢献、人材教育、組織構造改革について詳しく聞くことができた。

見学を通じて、同社が既存の事業領域に安住すること無く、コアコンピタンスを土台に事業の多角化に邁進し、今後も業界を牽引し続ける企業であることが確信できた。

私も金型に携わる一員として、同社の取り組みや企業文化には大変刺激と学びを得た。またVUCAの時代に必要とされ続ける企業が実際に行っている取り組みや価値観について、肌で感じる事が出来た。今回の学びを持ち帰り、自社の成長とプラスチック製造業の発展に寄与していきたい。

今回、大変貴重な機会をいただいたTMW様には、この場をお借りして改めて御礼申し上げます。誠に有難うございました。

（レポート：(株)高瀬金型 高瀬直幸）

岡田晴雄氏 (スターサービス) が優勝 プラス会 第288回例会

開催日 7月13日(水)
場所 葵カントリークラブ
スタート 午前7時51分
参加者 22名
天候 晴れ
気温 32.9℃
優勝 岡田晴雄氏 (スターサービス)



優勝した岡田晴雄氏 (右)

順位	会社名	氏名	OUT	IN	GRS	HC	NET
1位	(株)スターサービス	岡田 晴雄	46	45	91	20	71
2位	第一実業(株)	植畠 啓	47	45	92	20	72
3位	(株)カンネツ	加藤 敦	43	41	84	11	73
4位	(株)石原合成樹脂	鈴木 隆人	53	46	99	26	73
5位	三恵プラスチック(株)	立松 浩二	48	51	99	25	74

業界レポート

[協会・組合の動向]

▼理事会

- 6月15日 (名古屋市工業研究所) 24名
- (1)事務局より第51回通常総会、第17回優秀従業員表彰の収支について報告。
 - (2)事務局より第59回令和4年度永年勤続優良従業員表彰の案内、実施内容について説明。
 - (3)富山県プラスチック工業会から、中部地区業界団体懇談会は10月25日(火)に開催すると連

絡があった。

- 7月20日 (名古屋市工業研究所) 26名
- (1)事務局より正会員第4支部へ入会申込みの(株)ケーターについて説明。審議の結果、全員一致で可決承認。
 - (2)事務局より令和4年度永年勤続優良従業員表彰の現在の推薦状況について説明。
 - (3)井上理事長、立木技能検定委員長から検定会場の移転問題について経過報告。家賃の問題等で今後も月40万円以下を中心に探していきたいと報告。
 - (4)井上理事長より合同支部会は今年度も中止することを決定したと報告。

▼総務委員会

- 7月20日 (名古屋市工業研究所) 12名
- (1)本日開催の理事会の審議案件について検討。
 - (2)検定会場移転について
 - (3)永年勤続優良従業員表彰記念品について
 - (4)新規入会について

▼文化広報委員会

- 7月25日 (名古屋市工業研究所) 7名
- (1)154号の反省及び155号の企画・編集方針を検討した。
 - (2)広告の継続のお願いと新規募集について。

[全日本プラスチック製品工業連合会]

6月30日 (名鉄グランドホテル) 〈詳細2P〉

▼事務局会議

- 6月30日 (リモート)
- (1)10月理事会の開催について
 - (2)令和5年新年賀詞交歓会の開催について
 - (3)ホームページの見直しについて
 - (4)年会費の見直しについて
 - (5)特定技能外国人制度の分野追加について

告 知 板

【訃報】

▽正会員 第6支部 和泉化成(株)代表取締役会長 服部和彦様 (元全日本プラスチック製品工業連合会会長、元協会会長) が8月10日ご逝去されました。



プラスチック用産業合理化機器メーカー
NAKAMURA
中村科学工業株式会社

本社工場 Head office & Factory 関東支店 Kanto branch
〒444-0951 愛知県岡崎市北野町字高塚10-1 〒362-0064 埼玉県上尾市大字小敷台862-10
TEL(0564)31-2919 TEL(048)778-8031
FAX(0564)31-9435 FAX(048)778-8032
URL <http://www.nakamurakagaku.co.jp/>



三井住友信託銀行

名古屋営業部 TEL.052-242-7311
〒460-0008 名古屋市中区栄3丁目15番33号 栄ガスビル



NEX-V

“成形現場の HUB となる新しい成形機”

——— 新型 電気式高性能射出成形機 ———

- 東海営業所 / TEL(0568)75-9555(代)
〒485-0039 愛知県小牧市外堀 2-167
- 岡崎出張所 / TEL(0564)52-1430
- 三重出張所 / TEL(059)272-4065
- 静岡出張所 / TEL(054)655-5656
- 浜松出張所 / TEL(053)423-0205



射出成形機・高型・成形変換システム
日精樹脂工業株式会社
<http://www.nisseijushi.co.jp>
■本社・工場 / 〒389-0693 長野県埴科郡坂城町
南条 2110 TEL(0268)81-1050

成形工場の見える化/IoTの実現!
生産管理システムのことならお任せください

muratec ムラテック販売株式会社

〒484-8502 愛知県犬山市橋爪中島 2
TEL:0568-63-2311 FAX:0568-63-5779
<https://www.muratec.jp/fs/>



全電動射出成形機
JADS SERIES
すべてのお客様に最大限の安心を

すべてのお客様の問題を解決

- Satisfaction ●Smart ●Strong ●Stable

JSW 株式会社 日本製鋼所

●名古屋営業所 TEL.052-222-1271 ●株式会社ニップラ 名古屋営業所 TEL.0561-74-7400

PLASTICS WORLD
YAMASO

山宗株式会社

本社 名古屋市北区大曾根1-6-28 〒462-0825
TEL(052)913-6131 FAX(052)913-6138
東京支店・静岡本社・福井本社・香港・上海

営業所 岐阜・三重・豊橋・松本・甲府・埼玉・西東京
茨城・浜松・沼津・金沢・富山・大分・京浜・京滋



スクロエデザインが安定成形の決め手です

省エネ・成形不良対策 おまかせ下さい!

特にベント可塑化ユニットによる成形は



原料の「乾燥レス」
原料中の「ガス・水分・残留モノマー除去」
金型の「メンテ周期大幅延長」など
確実に成果を上げています

株式会社 日本油機 〒252-0203 神奈川県相模原市中央区東淵野辺 4-2-2

株式会社 ユーシン精機

YUSHIN

■本社・工場

〒601-8205 京都市南区久世殿城町 555 番地
TEL : 075-933-9555 FAX : 075-934-4033

■中部統括営業所

〒442-0809 愛知県豊川市大橋町 2 丁目 62 番地
TEL : 0533-89-2021 FAX : 0533-89-2020

■名古屋西営業所

〒511-0065 三重県桑名市大町 21 番 9 号
TEL : 0594-24-9500 FAX : 0594-24-9505

■静岡営業所

〒422-8037 静岡市駿河区下島 210 番地の 2
TEL : 054-238-2848 FAX : 054-238-2847

株式会社 ハーモ

樹脂不足と人手不足を補うハーモのラインナップ

TOTAL LINK

GRAN CUTTER グランカッター

本 社 工 場 : 長野県上伊那郡南箕輪村 4124-1 TEL. (0265) 72-0111(代)
名古屋営業所 : 愛知県名古屋市天白区平針 3-902 TEL. (052) 804-6311(代)

愛知県プラスチック成形工業組合が設立した

従業員の皆様の豊かな老後の生活を守る

愛知県プラスチック成形企業年金基金

〒460-0003 名古屋市中区錦 3-4-6
桜通大津第一生命ビル12階

TEL(052)211-8081 FAX(052)211-8028

aipla-kikin@joy.ocn.ne.jp